

大月町 議会だより



110号

7月臨時会
9月定例会

もくじ

- P 4 7月臨時会
- P 4 9月定例会
補正予算・条例
契約・人事
議員発議
- P 7 決算認定
- P 8 決算審査
- P10 委員会報告
- P12 新議会の構成
- P13 一般質問
- P16 こんにちは

◇7月臨時会の概要◇

令和4年7月第4回大月町議会臨時会は7月22日の1日の会期で開催、補正予算2件が提出され全議案を可決した。

◇9月定例会の概要◇

令和4年9月第5回大月町議会定例会は9月8日から9月15日までの会期で開催、補正予算7件、決算認定9件、条例3件、辺地計画1件、人事2件、議員発議の意見書1件、契約1件の計24件が提出され全議案を承認・可決した。

その他に報告2件、委員会報告3件が報告された。また、陳情は2件あり1件は総務厚生常任委員会付託、1件は不受理とした。

表紙写真によせて



しあわせよさこい！
(おおつき保育所運動会)

◆議会の新体制発足◆

9月定例会最終日に選挙により議長・副議長が選任された。

議長 谷 正美 8票（山本恒和 1票）

副議長 山本恒和 8票（中田 巖 1票）

議長選挙後、各委員会の新委員が選出された。任期は10月8日から2年間。
（各委員会は12頁に紹介）

令和4年度補正予算〈全員賛成〉

7月臨時会

令和4年度 一般会計補正予算第2号

款 名 称	項 目 名	補 正 額
総 務 費	コロナ・物価高騰支援(商品券 1 万円支給/人)	4635万円
	コロナ・地域経済支援(商品券 1 万円支給/人)	4635万円
民 生 費	子育て世帯生活支援特別給付	150万円
農林水産業費	コロナ・園芸燃油対策費	248万円
	コロナ・畜産飼料対策費	200万円
	コロナ・漁業燃油対策費	1260万円
消 防 費	コロナ・避難所備品費	3000万円
そ の 他	他予算科目増減差額	1973万円
一 般 会 計 補 正 額 総 計		1億6101万円
補 正 後 会 計 予 算 総 額		53億5798万円

令和4年度 特別会計補正予算

特別会計名	項 目 名	補 正 額
大月病院会計	院内リモート化備品購入費	100万円
	院内感染対策空調設備整備費	250万円
	大月病院会計補正額総計	350万円

令和4年度補正予算〈全員賛成〉

9月定例会

令和4年度 一般会計補正予算第3号

款 名 称	項 目 名	補 正 額
総務費	庁舎改修及び備品	1255万円
	財政調整基金積立	1億2061万円
衛生費	新型コロナウイルス感染症対策事業	1843万円
商工費	大月町博覧会受入環境等整備支援事業	3517万円
その他	他予算科目増減差額	3616万円
一 般 会 計 補 正 額 総 計		2億2292万円
補 正 後 会 計 予 算 総 額		55億8090万円

令和4年度 特別会計補正予算

款 名 称	項 目 名	補 正 額
特別養護老人ホーム	修繕料及び電気料	350万円
	給食材料医薬品費	480万円
	補正後会計予算総額	3億8659万円
国民健康保険	国保事業財政調整基金積立	2064万円
	その他予算科目増減差額	42万円
	補正後会計予算総額	8億6741万円
水 道	送水ポンプ購入費	210万円
	補正後会計予算総額	3億3330万円
介護保険	介護給付費準備基金積立	3294万円
	過年度介護給付費国庫負担金清算金	2048万円
	その他予算科目増減差額	2万円
	補正後会計予算総額	8億4004万円
漁業集落排水処理事業	漁業集落排水処理事業基金積立	12万円
	補正後会計予算総額	3599万円
後期高齢者医療	後期高齢者医療広域連合納付金	163万円
	補正後会計予算総額	9565万円



条 例

〈全員賛成〉

○大月町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

【内容】

地方公務員の育児休業に関する法律の一部改正に伴い、育児休業回数の制限の緩和、育児参加のための休暇の対象期間の拡大などの改定。

・施行日 令和4年10月1日

○固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

【内容】

租税特別措置法及び同施行令の一部改正に伴い、引用条例に「項ずれ」等が生じたため規定の整理を行うもの。

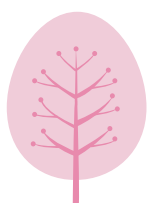
・施行日 公布の日から施行

○半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

【内容】

租税特別措置法及び同施行令の一部改正に伴い、引用条例に「項ずれ」等が生じたため規定の整理を行うもの。

・施行日 公布の日から施行



契約

〈全員賛成〉

○長期避難所衛生環境確保物品購入契約

（新型コロナウイルス感染症対策事業）

- ・契約目的 災害時に長期避難所への避難者及び避難所外避難者、車中泊避難者へのトイレ対策として、電気・水の供給を必要としない災害対応型の循環式水洗トイレ（可搬型）を設置する。
- ・契約方法 随意契約
- ・契約金額 298万2千円
- ・契約相手 高知市加賀野井2丁目21-7 株式会社ダイドウ
- ・納入場所 大月小学校敷地内
- ・契約期間 令和5年3月20日まで



設置予定の循環式水洗トイレ

人事

〈同意多数〉

○大月町監査委員の選任

- ・竹田 正和 氏（姫ノ井） ※再任
- ・久米 里志 氏（弘見） ※再任

計画

〈全員賛成〉

○辺地に係る総合整備計画

①漁具施設地整備	安満地地区 保管修理地	310万円
②町道整備	橘浦地区 保管修理地	110万円
③橋梁整備	一切地区 防護柵	1310万円
	樫ノ浦地区 月灘海岸線	6010万円
	才角地区 修繕費	110万円
	春遠地区 修繕費	110万円
④施設整備	柏島地区 旧橋改修	9210万円
	一切地区 休憩所	1311万円
	柏島地区 排水処理	2400万円

陳情

《総務厚生常任委員会付託》

○国に対し「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める陳情書

議員発議

〈全員賛成〉

○安倍元首相の国葬の中止を求める意見書について

発議者 浦木秀雄
野村満久

政府は、閣議決定で安倍元首相の国葬を執り行うことを決定しましたが、国葬は以下の点を尊重しなければならぬと考えます。

- ①国葬は、国会で決定すること。
- ②国葬は、国民の大多数の支持によって行われること。
- ③国葬であれば、市町村の自治体まで弔意を求めること。

しかし、安倍元首相の国葬は内閣だけで決定されたこと。国民の中で国葬賛成、反対が拮抗していること。今回の国葬は市町村に弔意を求めるものではないこと。など、合意形成が出来にくい状況になっています。

このような中で国葬を執り行うことは、民主主義に反し、将来にわたって禍根を残すことにつながりかねません。

よって、安倍元首相の国葬の中止を求めます。

（要約）

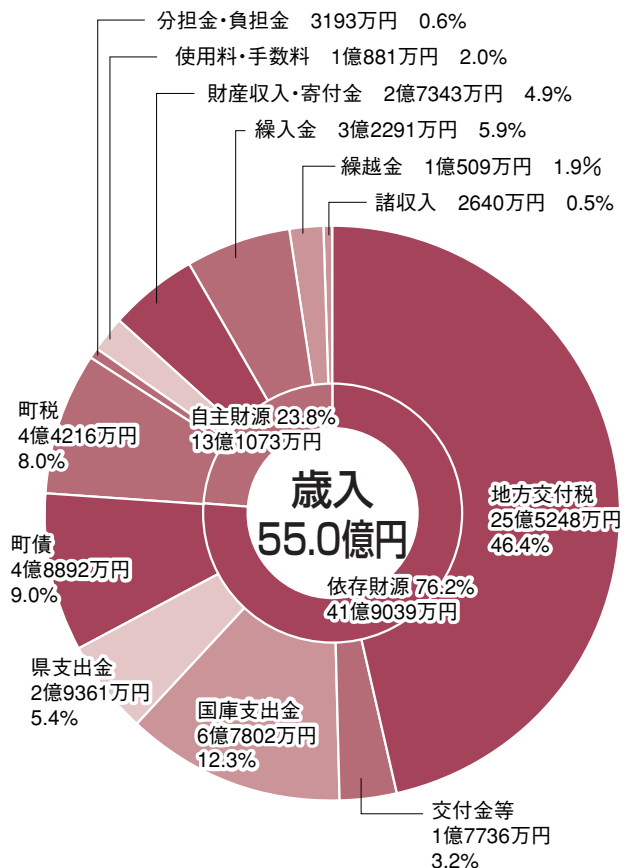
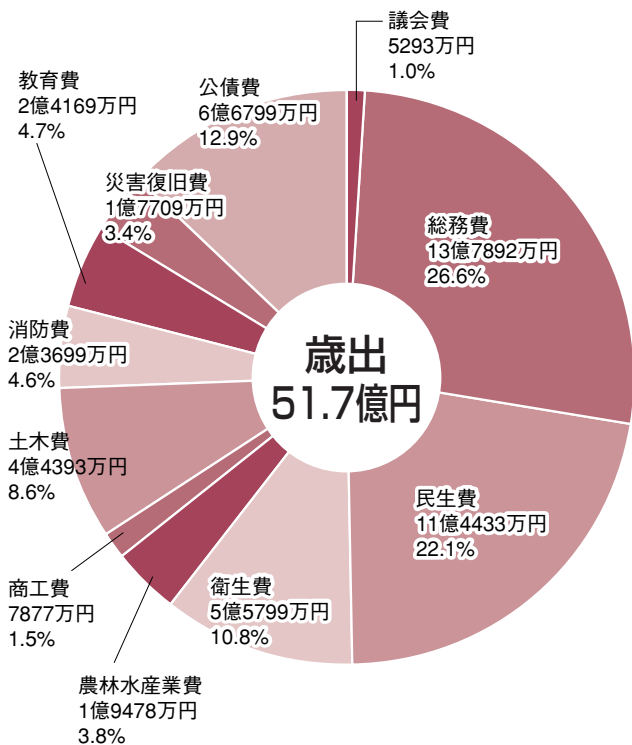
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年9月15日

令和3年度一般会計決算

歳出約51億7541万円

一般会計



歳入歳出決算認定

会計名		歳入	歳出
一般会計		55億0112万円	51億7541万円
特別会計	特別養護老人ホーム	3億6054万円	3億6054万円
	国民健康保険	8億4299万円	8億2235万円
	水道	3億3380万円	3億3191万円
	介護保険	8億3310万円	7億8353万円
	漁業集落排水処理事業	757万円	713万円
	後期高齢者医療	9320万円	9157万円
病院事業会計		5億9142万円	5億5824万円
計		85億6376万円	81億3067万円
会計間重複額		△ 5億6199万円	△ 5億6199万円
純合計		80億0177万円	75億6869万円

決算審査 全員協議会

9月13日、14日の2日間、全員協議会で決算を審査した後、15日の本会議において令和3年度決算を全会一致で承認した。



地域包括システム

問 システム委託料の内容説明を。

答 サーバーの能力が5台分だったものを、それ以上の台数に対応できるようにしたためと、作業療法士が増えたことによるものです。

有望品目補助金

問 補助金交付後の作物の管理や生産状況は把握しているのか。

答 交付後3年間の報告は受けていますが、それ以降の報告は受けていません。

農業振興

問 新規就農者の推移は。

答 毎年1〜2名です。今後は集落営農組織を各地区に拡げ、新規就農者の受け皿としていきたいと考えています。

結婚新生活支援

問 活用した実績組数は。また、活用してもらえない努力はしているのか。

答 令和3年度は1組のみです。婚姻届を提出しに来てくれた際に、活用を促すアンケートを取っています。

住宅改造支援事業

問 実績と補助率の割合は。

答 県、町、本人それぞれ1/3の負担となっており、令和3年度の実績は5件です。

共助の基盤づくり事業

問 事業費について内容の説明を。

答 人件費に充当しています。その方たちの努力により、447件あった相談のうち382件が解決しています。

病院経営

問 毎年3千万円ずつ欠損金が減ってきているが、今後も同様に推移していくのか。

答 人口減少に伴い患者数も減っていくことと、医師の確保が困難になっていくと予想しており、今後の経営は厳しくなっていくと思われる。

まちバス

問 利用者数は。

答 月に平均200人の方が利用しています。

ふるさと納税

問 寄付額が全国的に伸びている中で、大月町が下がっている原因は。

答 返礼率の見直しを図ったことによる影響が出ているものと思われます。

地域おこし協力隊

問 予算総額のうち町費はいくらか。

答 全て国からの特別交付税の中に入っています。

老朽化住宅除去事業

問 令和3年度の実績は。

答 事業費の598万円、4軒を除去しました。今年度はすでに4軒の申し込みがあります。

消防ポンプ車

問 毎年購入となっているが、今後も継続して購入が必要なのか。

答 ポンプ車が古くなっている、購入待ちの地区が複数あります。5年は購入が続く見込みです。

この町に必要なもの





早急な改修を！

田代川

決算全般

問 設計委託料が令和4年度へ繰越となつて
いるのはなぜか

答 田代川が河川法に準じていないため補助対象になっていませんでした。全国で激甚災害が起こったため田代川も国の補助対象となりました。しかし、用地買収が完了していないため次年度への繰越となりました。

問 不用額が多いが要因は

答 不測の事態に備えて予算を多く組んでいた結果によるものです。

問 予備費を充当するべきではないか

答 目的のない予備費を組むことは好ましくないと判断しました。

■監査委員の意見(要旨)

一般会計	一般会計の形式収支、実質収支及び当該年度のみの収支を示す単年度収支は黒字となっている。
歳入	依存財源の地方交付税は大幅な増加、自主財源の徴税等は微増となっている。ふるさと応援寄付金及びコロナ関連事業に伴う国庫支出金及び県支出金等が減少となっている。
繰越明許費	長期滞在複合施設整備事業、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業、臨時地方道整備事業、空き家対策総合支援事業、緊急自然災害防止事業、住宅耐震化促進事業及び現年発生河川等災害復旧事業などが主なものとなっている。
特別会計	形式収支、実質収支は、それぞれ黒字となっているが、単年度収支は、漁業集落排水事業特別会計及び後期高齢者医療特別会計は赤字となったが、その他の特別会計は黒字となっている。 本来ならば特定の歳入をもって歳出に充てるものであり、一般会計からの繰入金は必要最小限度にとどめるよう努力され、事業運営の一層の効率化及び事業収入の増収に取り組むべきである。
滞納、未収金	それぞれの会計において、滞納・未収金が多く発生している。町民負担の公平性を損なうことのないよう、収納に向け一層の努力を望むものである。

業務の執行にあたっては、費用対効果を十分に検証し、前例にとらわれることなく全庁的に取り組むなど実施方法の見直しを徹底し、より効果的、効率的な予算執行に努められたい。

大月病院	本年度においても、新型コロナウイルス感染症の蔓延等により、患者数は前年より減少したものの、純利益は前年度に引き続き増額となっている。 今後においても、医療制度改革や人口の減少など病院を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあるが、地域の拠点病院として、保健部門と連携した特定検診事業の実施や、次世代を担う子どもたちへの乳児検診、内科検診を行い、住民一人一人の健康管理に積極的に関与することにより、健康で豊かな生活が送れるよう、きめ細かな医療サービスの提供などを医療スタッフ及び職員が一丸となり、公立病院として住民福祉の増進を図るよう一層の努力を望むものである。
------	--

「若者定住対策」

総務厚生常任委員会

○調査の目的

大月町では少子高齢化や人口減少が進み、地域活力の衰退が課題となっている。その歯止めをかけるための解決方法を調査することとした。

○調査の結果提言（要約）

若者定住への要件として4点を押さえてきた。

- ①就労環境の整備（本委員会の担当外）
 - ②居住の確保（執行部に提案済）
 - ③教育環境の充実
 - ④医療、保健、介護、福祉の充実
- 今回は④に焦点を当て検討した結果、以下の提言をする。
- ①住民の命を守る砦として、大月病院を存続させる方法を模索すること。
 - ②地域包括ケアシステムの充実を目指し、行政支援とし介護専門員の採用を図ること。
 - ③住民支援のため他団体の協力を得て、地域を動かすための啓蒙活動やシステム作りに努めること。
 - ④あらゆる手立てを取り、介護人材の確保に努めること。

委員会報告



土佐市の就労施設カトレアの作業風景



若者が住みたい町づくりを

「障がい者の就労支援」

産業建設常任委員会

○調査の目的

近年、高齢化や現代社会の環境要因などにより障がい者人口は年々増加傾向にあり、障がい者が一般社会で働けるよう企業や行政などが就労支援をしている。本町において、この様な施設の必要性を調査することとした。

○調査の結果提言（要約）

国が推進する農福連携事業では、障がい者雇用は企業の義務であると謳っている。近隣市町村においては、土佐市の就労施設などがあり、各産業の一角を担う役割を果たしている。本町にはそのような施設が存在していない。農業など一次産業との連携を図っていくことで障がい者が働ける環境をつくり、働き場と生きがいづくりを構築し、町内事業所の人手不足の解消にもつなげることが、本町や地域産業にとって必要であり検討するべきである。

「議会資料のペーパーレス化」

議会改革特別委員会

○調査の目的

議会の活性化の一環として、ICT技術を取り入れることで会議にかかる労力を削減し、会議の審査・説明を効率的に行うため、議会でタブレット導入の効果と経費について調査する。

○調査の結果報告

タブレット端末に情報を集約することにより、①検索機能を活用して関連資料が簡単に抽出できる。②全議員が共通の情報を共有できる。③議会資料の配布、追加資料の配布など各議員に迅速な情報提供が可能となる。

導入の経費は議会・執行部とも初期費用や、安全性を含めたネット経由による経費が恒常的負担となる。

以上のことからネットワーク接続せずペーパーレス化の検討をしたが効果は限定的と判断し、今回は見送ることとした。

しかし、国においては昨年9月デジタル庁が発足しデジタル社会へ大きく舵を切ったところであり、今後はICT技術を活用したタブレット導入は必要であることから、より認識を深め、タブレット導入の検討をすることが望まれる。

「議会報告会」について

議会改革特別委員会

○調査の目的

開かれた議会、町民から信頼される議会への取り組みの一環として議会報告会を開催した。

○調査の結果報告

幅広く住民との意見交換をするため、小・中学校PTA、老人クラブ連合会、観光関係、一次産業団体等の5団体を対象とした。各団体から少子高齢化に起因する多くの意見や要望・提言があった。これらの意見は委員会でも検討した結果、町民からの切実な声として町政への反映に努めるとともに、議会に対する厳しい意見は今後の議会運営に生かして行くこととした。

今後においても住民との対話を重ね行政に反映させることや、議員自ら研鑽に努め、政策決定や行財政運営の監視に取り組むこととした。

以上、2件を本委員会の結審とする。
(以上要約)

委員会報告



議会報告会の様子（さんご研修室にて）

第2回 子ども議会が開催されました



令和4年8月5日、大月町庁舎・議会本会議場にて小学生7名、中学生7名の計14名が議員となり、執行部に質問し、岡田町長より答弁があった。

(質問の詳細については、
広報おおつき10月号に掲載)

新体制決まる

議員一丸となり、町民のために力を尽くします。

副議長 山本 恒和

未来の大月のため、機能する議会の仕組みづくりと、執行部との連携を進めたいと考えます。

議長 谷 正美

引き続き議長の重責を担うことになりました。初心の志を忘れず、皆様の付託に応えるべく精進してまいります。よろしくお願い致します。

産業建設常任委員会

委員長	中田	巖
副委員長	野村	満久
委員	谷	正美
委員	依岡	一生
委員	安原	明彦

総務厚生常任委員会

委員長	浦木	秀雄
副委員長	山本	恒和
委員	安岡	邦彦
委員	久米	里志
委員	中平	順三

議会運営委員会

委員長	安原	明彦
副委員長	中田	巖
委員	安岡	邦彦
委員	久米	里志
委員	浦木	秀雄

議会広報常任委員会

委員長	依岡	一生
副委員長	野村	満久
委員	山本	恒和
委員	中田	巖
委員	浦木	秀雄



久米 里志 議員

限界集落での生活を守る対策を

安心の生活が送れるように

対応を考えていく／町長



飲料水や生活水が確保できない地域

問 飲料水や生活水が確保できない地域がある。長年にわたり谷の水を自家水としてきたが、近年の異常気象で、谷の水が涸れた為である。このような状況にある方々を助ける対策はないか。

岡田町長 簡易水道に加入されていない住民の飲料水、生活水の確保をするため、高知県中山間地域生活支援総合補助金を活用しています。しかし、補助金には条件があります。今後、情報収集や制度を模索し、町民の皆様への生活に寄与できるように県に要望し打合せをします。

問 高齢者の見守りや日々の生活に非常に役立つＩＰ告知端末に取り換えすると聞いたが詳しく説明を。

岡田町長 今回、新告知端末への切り替えを検討している75歳以上の対象者を地区長の協力のものと絞り込み、リストの作成をしています。10月より、地区単位で交換作業を行います。高齢者に対する新サービスは、光ケーブルの相互通信機能を活用した見守り機能や安全確認や認知症予防アプリ機能など多様な機能を活用することが可能です。

問 地域により公共交通もなく、高齢で運転免許もなく、タクシーでの移動になるが、長距離で経費がかかりすぎて、生活が困窮している。タクシー補助金・免許返納補助金などの支援はできないか。

岡田町長 高齢者が地元で生活するうえで交通手段に関する施策は大変重要であると考え、令和2年3月に大月町地域公共交通網形成計画の策定を行い試行運転し持続可能な交通、公共交通への検討を行い現在の状況です。現在の地域生活バスを維持しつつ、利便性の向上に努めながら、町民の移動手段を確保していく考えです。



奨学金返還支援制度の導入

誰もが安心して学べる環境を

制度導入を検討している／町長

問 令和3年9月議会の質問で、制度の導入を前向きに検討すると回答があった。コロナ禍や物価高が続く中、高校や大学、専門学校への進学が家庭の経済的理由で学びが阻害されている。安心して学ぶことのできる奨学金返還支援制度の導入を。

岡田町長 制度の概要や導入自治体の調査・検討し、本町が導入した場合の効果を検証しました。制度設計によって若い世代を本町に誘導する有効な制度とも考えています。若者支援や後継者の掘り起こし育成など多様な観点から制度の導入の可能性を検討しています。また、国レベルでの奨学金返還制度に関する働きにも取り組んでいきます。



学びの場を



待たれるゴミ収集改善

ゴミ問題

ゴミ回収の負担軽減を 早いうちに解決する／町長



浦木 秀雄 議員

問 住民の要望が多い。色分けしたビン、ペットボトルをゴミ袋に分けて出すのではなく、ゴミ置き場にかごを置いて、その中に入れてもらうよう住民の負担軽減を図るべきではないか。

岡田町長 より良い収集方法のあり方、リサイクルに対する費用負担等について、住民の負担軽減の話し合いを、担当課でしています。ここでいつまでという明言はできませんが、早いうちに解決して皆さんに周知したい、と考えています。

問 コロナ対応は、幡多保健所がして、大月町はタッチしていない。大月町でもコロナ患者が多く出て、いろいろな苦情が住民から寄せられる。コロナ対応を県任せにせず、大月町でも食料、病院搬送等、色んな状況に対応できる細やかなシステム作りはできないか。

岡田町長 食料品などの生活必需品の買い物は、親族等からサポートを受けられない場合に、社会福祉協議会で受付しています。独居等で自家用車を保有していない方の病院搬送はむずかしいので、緊急時には迷わず119番に電話をして救急車を利用していただきたい、と考えています。

コロナ対応

食料・病院搬送の町対応を 食料等は社協で受付／町長



大月町でも細やかな対応を

町づくり

利便性を高めるように 公共施設全般を検討／町長

問 第7次大月町総合振興計画は、人口問題の解消、1次産業の振興を目標にしている。ところが、1次産業の振興に1500万円、アニメの里づくりに9000万円使っている。目標に対するお金のかけ方が間違っているのではないか。

岡田町長 1次産業の振興は、地元の地盤を整備してからやらなければならぬ。アニメはアニメというのではなくて、関連した内容で将来の大月町の人口減少に歯止めをかける方向性を向けていきたい、と考えています。

問 町づくりの基本は行政の建物を一カ所に集中させ、住民にとって利便性を高めることにある。公民館・図書館の教育施設に限定した複合施設検討委員会よりもう少し輪を広げ、行政の建物の再配置、道の駅を公園化するなど公共施設検討委員会として検討すべきではないか。

岡田町長 今後は財政状況を見ながら、公共施設全般の整備を視野に入れた検討を進めていきたい、と考えています。意見は、参考として聞いておきたい、と思っています。



依岡 一生 議員

高齢者支援

介護保険事業計画の課題は

地域の力で地域を支える／町長

問

① 地域包括ケア

システムの専門職の確保による体制の強化推進はをどのように考え展開していくのか。

② 保険・医療・介護・福祉の多様な職種による連携や、推進の強化、体制をどのように進めるのか。

③ 介護人材の確保、定着をどのように推進していくのか。

岡田町長

① 地域の力を地域包括ケアシステムの重要な要素と位置づけ、地域ぐるみのサポートにより充実したものとするため、地域のつながりを再構成し、様々な団体と連携を深め、町民一人ひとりがつながり、支えあいの意識を高め、必要に応じて専門職を確保しながら、地域包括ケアシステムの強化を図ってまいります。



(出典:厚生労働省HP)

② 来年度の機構改革により、保険・医療・介護・福祉の分野を医療介護部門と保健福祉部門の2課とする計画です。本町の介護福祉サービスの要となっている社会福祉協議会を含め、健康づくり、介護予防、生活支援、医療連携を一つのチームとして情報課題を共有し、適切なサービスを提供できるよう連携強化を図ってまいります。

③ 介護人材の不足は深刻なものです。今後は住民の力で地域を支える仕組みづくりを推進し、地域で介護人材が育つ環境づくりに取り組めます。

防災計画

避難タワー設置する考えは

地区の意見を聞く／町長

問 今の避難道では安全とは言えないと思うが、避難タワーを設置する考えはないか。

岡田町長 避難場所の検討を行い、地区の合意のもと避難場所の候す。

補地選定、避難経路設定、整備を行った経緯があります。各地区からは避難タワーという話は出ていないが、地区の意見を聞いてみます。



宿毛駅前公園津波避難タワー

若者定住対策

アンケート調査の時期は

10月中旬に実施する／町長

問

総務厚生常任委員会

会で若者定住対策、宅地造成について調査をし、提言をしたが、アンケート調査はいつ行い、宅地造成についてどう考えているか。

岡田町長 9月現在本町に住所を置く20歳から49歳までの1017名全て対象とし、10月中旬に期限を定め実施します。宅地造成はこれからの大月町を考えると、絶対必要な事業になると考えています。

こんにちは

仕事(お弁当作り)と子育てと

あすか

筒井 明日香さん (浦尻)



20代という若さでお弁当屋を経営し、3人の子育てにも奮闘するお母さんを訪問しました。

おばあちゃんの背中

幼少期、仕事で忙しい両親に代わって祖母がよくご飯を作ってくれました。祖母からは「料理」で人を喜ばせられることを学びました。そんな祖母の周りにはいつも人が集まっていた。

やりがい

お弁当のことで様々な意見をいただき、シヨックを受けるときもあります。厳しい意見も全てプラスに変えられるよう努力しています。心が折れそうなときは、頼りになる旦那さんに相談しながら乗り

越えます。

お客さまの笑顔を想像しながらお弁当を作ることと家族の笑顔を見ること、それが一番のやりがいです。

家族との時間

朝4時の起床。8時前の子どものバスの時間にはお弁当作りを終わらせます。それから配達、買出し、仕込みをして夕方、子どものお迎えに行きます。

毎日バタバタになりますが、家族で過ごせる夕食が、かけがえない時間です。



旦那さん、頼りにしていますよ！

感謝の気持ち

若い頃は特に夢を持っていませんでした。ただ何となく生きていました。でもこの仕事を始めたことで、色んな人たちに支えられて生きていることに気がきました。

今は、その自分が経験したことを子どもたちにも伝えていきたい。と、感謝の気持ちをとお弁当に「盛りつけ」ていきたいと思っています。

(取材 中田 巖)



色とりどりのお弁当

編集後記

相田みつをの言葉「わたしはねていなくても動いてくれる心ぞう」とある。

人に限らず世の中もそうなのだろう。社会は昼も夜もなく活動している。それは、人や社会が生きものである証なのかもしれない。何時も誰かが人知れないところで動いて、人の命を守り世界の生命力を維持しているのだろう。私たちもこの言葉のように、人知れないところで常に動き住民の生活の安定と地域の発展に貢献すべきであらう。

(山本 恒和)

議会広報常任委員会

委員長 依岡 一生
副委員長 野村 満久
委員 山本 恒和
委員 中田 巖
委員 浦木 秀雄

発行／高知県大月町議会
編集／議会広報常任委員会

高知県幡多郡大月町弘見2230
TEL(0880)73・1682

印刷
有限会社 宿毛印刷